

ふるさとファイル

展示コーナーだより

第20号

平成16年12月

生涯学習課文化財係



長岡名所図会今昔

～『都名所図会』に登場する長岡京市の寺社～

年末年始、普段はあまり参詣しない人も、老いも若きもたくさんの人々が神社仏閣を訪れ、境内は多くの参拝客で賑わいます。

展示コーナーでは、『都名所図会』に紹介されている市内の五寺社を取り上げ、江戸時代、明治、昭和、そして現在と、各時代の境内の移り変わりを写真パネルで紹介します。

● 展示期間 平成16年12月2日(木)～平成17年1月30日(日)

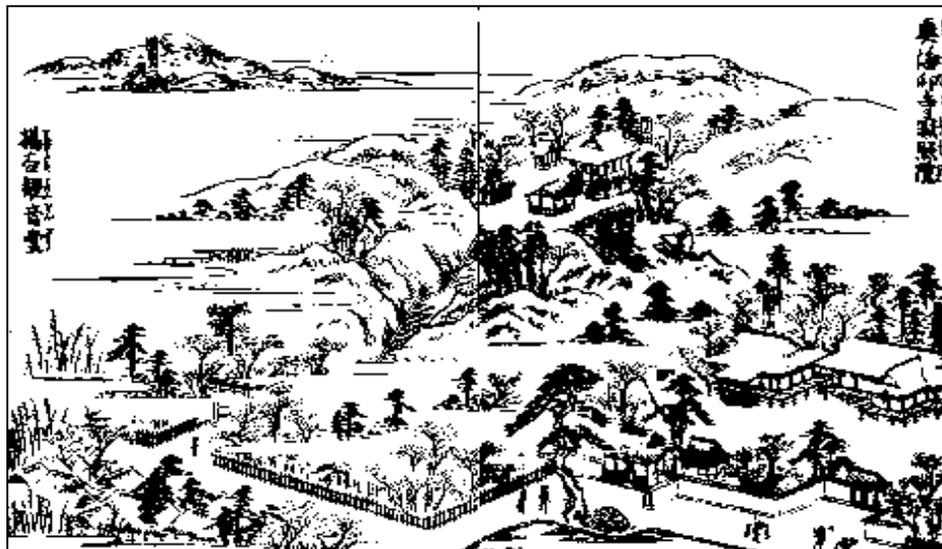


『都名所図会』と長岡京市の寺社

安永9(1780)年に刊行された『都名所図会』は、寺社・名勝旧跡の由緒来歴をわかりやすく解説した、今で言う「ガイドブック」のようなものでした。文中、多数取り入れられた実景描写の挿絵は、読者の旅への興味をひきたたせ、当代一のベストセラーとなりました。

市内では乙訓寺や光明寺、寂照院、柳谷観音堂(楊谷寺)、長岡天満宮の五寺社が洛西の名勝地、あるいは名刹として挿絵つきで紹介されています。

『都名所図会』に登場する市内の寺社



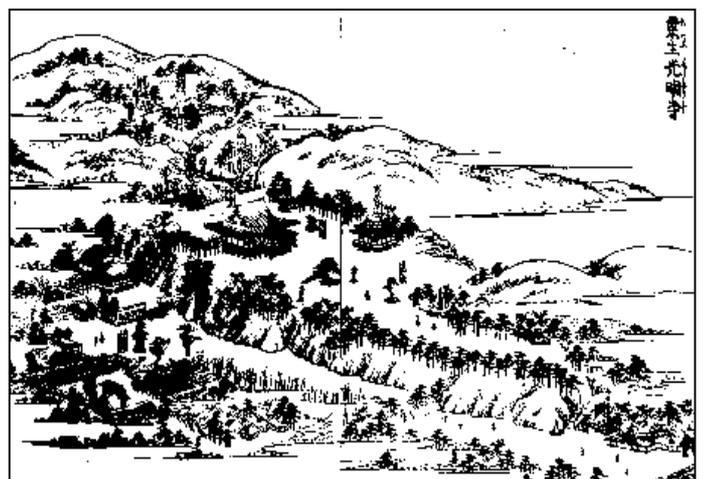
寂照院と楊谷観音(楊谷寺) 柳谷観音は図中左上



乙訓寺



長岡天満宮 堤上の小道は江戸時代の丹波街道。現在と違い、当時は楓の並木道でした。



光明寺



時代の移り変わりと寺社の境内

乙訓寺境内



明治 36 年発行『京都府乙訓郡名勝案内記』より



昭和 41 年、乙訓寺発掘調査時(教育委員会所蔵)



明治 30 年代後半ごろ。向日市個人蔵



昭和 40 年代(教育委員会所蔵)

楊谷寺門前

光明寺総門



明治 30 年代後半ごろ。向日市個人蔵



平成 12 年(教育委員会撮影)



明治の終りごろ(長岡天満宮所蔵絵葉書より)



昭和 27 年ごろ(前田照男氏撮影)

長岡天満宮

市内の寺社について、詳しくお知りになりたい方は、『長岡京市史』建築・美術編、『長岡京市の寺社』をご覧ください。図書館郷土資料コーナーにあります。

【展示史料】

- ・都名所図会
- ・光明寺山内細図
- ・京都府乙訓郡名勝案内記
- ・長岡天満宮御境内之図